

日本の歴史について

理事長 森 勉

今年で平成の御世が終わり新しい時代が始まる。わが国最初の正史である『日本書紀』によれば、男系の第126代天皇陛下が即位されることになる。豊かな自然に恵まれた豊穡の国土と1300年以上国家が継続していることは、わが国の大きな特徴であり誇りである。

わが国の歴史を概観すれば、1万数千年前から始まった縄文土器・装飾豊かな火焰型土器と、謎の多い土偶に代表される狩猟採集の縄文時代、3千年前頃大陸からもたらされた画期的な稲作農耕の弥生時代、3世紀頃に始まった巨大な前方後円墳に代表される国家の誕生・発展の古墳時代、氏姓制（部族制）から律令制（中央集権制）へ移行するための激動の飛鳥時代、8世紀初頭からの藤原氏等の貴族が支配する雅な奈良・平安時代、12世紀末から約7百年間の武士が支配する封建制の鎌倉・室町・安土桃山・江戸時代、そして1868年西欧列強に対抗するため近現代国家として歩み始め現代に至って

いる。

この間、権威（天皇制）と権力（時の政権）を分離し、権力が如何に変わろうとも絶対不可侵の権威を保持し、国家の安泰を図ってきた。

日本列島は北上する暖流の黒潮と対馬海流に挟まれ、更に南下する寒流の親潮により温暖湿润で四季の美しい豊かな自然に恵まれている。また大陸から適度な距離で隔てられている地勢上の特性から、大陸の文化的影響の恩恵を受けながらも元寇等を除けば政治的影響はほとんど受けなかった。このため、縄文時代から1万数千年という長い歴史の中で先の大戦以外侵略を受けたことがない桃源郷のような国家である。

自然との共生、先祖崇拜の家族主義、協調と調和を基本とする日本社会は、世界でも稀にみる長い歴史を持つ文明を育んできた。わが国には創業2百年を超える企業が約3千社あり、世界最多である。また創業千年を超える世界最古の企業トップ3は金剛組、西山温泉慶雲館、池坊華道会であり、何れも日本の企業である。そして現存する世界最古の国こそわが日本国である。

日本文明の本質は正に継続であり、これを子孫に継承することは日本人の重要な責務である。